

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月13日

上場会社名 株式会社日本創発グループ 上場取引所 東
 コード番号 7814 URL https://www.jcpg.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊地 克二 TEL 03-5817-3061
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 2019年9月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	26,861	11.5	1,226	82.7	1,392	82.0	2,335	28.4	825	39.6
2018年12月期第2四半期	24,091	40.6	671	△6.9	765	3.4	1,818	19.8	591	45.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 950百万円 (72.2%) 2018年12月期第2四半期 552百万円 (16.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	66.01	—
2018年12月期第2四半期	45.59	—

(2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	51,877	11,704	20.6	858.10
2018年12月期	49,951	10,973	19.8	792.23

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 10,668百万円 2018年12月期 9,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00
2019年12月期	6.00	6.00			
2019年12月期 (予想)			6.00	6.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA※		親会社株主に帰属する当期純利		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.6	2,000	24.0	2,000	62.0	4,085	10.7	1,200	—	95.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※EBITDA=経常利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名)株式会社スマイル 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年12月期2Q	13,817,934株	2018年12月期	13,817,934株
2019年12月期2Q	1,385,352株	2018年12月期	1,309,136株
2019年12月期2Q	12,502,919株	2018年12月期2Q	12,963,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、国内需要を中心に緩やかに回復しました。消費は、雇用・所得環境の改善などを背景にやや増加しました。設備投資は、輸出・生産の減少に加え、米中貿易摩擦や中東での緊張の高まりなど先行き不透明感が強まり、企業の投資姿勢が若干慎重になっています。

当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客様が創造性(クリエイティブ)を表現するために必要である多様なソリューションを提供するため、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しております。

クリエイティブサービスを主な事業とするグループ各社が、専門とする付加価値の高い技術及びノウハウ、最新の生産・製造設備の導入、また、M&A等により、常に商材またはサービスを積極的に増強し、ワンストップで多様なクリエイティブニーズを確かなカタチとしてご提供できるよう努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、グループシナジーの実現による新たな製品・サービスに関する売上の増加に加え、前連結会計年度に連結子会社となった田中産業株式会社及び株式会社MG Sの業績が加わり、売上高は268億61百万円(前年同期比11.5%増)となりました。また、前連結会計年度ののれん減損損失計上によるのれん償却費の減少、及びグループ各社のシナジー創出を目的とした事業所移転及び改装などの費用計上が前連結会計年度に比べて減少した結果、営業利益は12億26百万円(前年同期比82.7%増)、経常利益13億92百万円(前年同期比82.0%増)、経常利益に減価償却費、のれんの償却額および金融費用を加えたEBITDAは23億35百万円(前年同期比28.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億25百万円(前年同期比39.6%増)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間において、事業領域の拡充を目的として株式取得により、株式会社スマイルを連結子会社にいたしました。株式会社スマイルは、染色加工技術をベースに、シルクスクリーン印刷設備や最新鋭の大判インクジェットプリンター及び付帯の加工設備を整え、高品位な印刷にて、様々なサイズや型式ののぼり、旗、タペストリーなどの製品の製造を行っております。また、株式取得により株式会社アプライズの親会社である株式会社APホールディングスを持分法適用の範囲に含めております。株式会社アプライズは、広告代理事業、Web事業、出版事業など、様々なメディアを駆使しながら、広告に関するあらゆるサービスをワンストップで提供しております。同社は、浜松に本社を置き、東海地区を主な事業拠点としております。両社の業績は、第3四半期連結会計期間以降の連結業績に寄与してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に、現金及び預金、投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べて19億25百万円増加し、518億77百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、主に、長期借入金は減少となりましたが、短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べて11億93百万円増加し、401億72百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に、支払配当金による減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べて7億31百万円増加し、117億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の連結業績予想につきましては、2019年2月13日付け「2018年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,558	6,785
受取手形及び売掛金	10,241	9,644
電子記録債権	1,528	1,640
商品及び製品	936	888
仕掛品	749	799
原材料及び貯蔵品	445	468
短期貸付金	246	986
その他	1,104	910
貸倒引当金	△169	△232
流動資産合計	20,642	21,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,510	6,566
機械装置及び運搬具(純額)	3,243	3,182
土地	12,378	12,398
建設仮勘定	253	5
その他(純額)	417	369
有形固定資産合計	22,803	22,523
無形固定資産		
のれん	83	145
その他	919	877
無形固定資産合計	1,003	1,023
投資その他の資産		
投資有価証券	3,061	3,873
繰延税金資産	105	161
その他	2,372	2,423
貸倒引当金	△36	△18
投資その他の資産合計	5,503	6,439
固定資産合計	29,309	29,986
資産合計	49,951	51,877

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,259	3,218
短期借入金	18,050	21,000
1年内返済予定の長期借入金	1,717	1,200
未払法人税等	501	542
その他	3,902	3,611
流動負債合計	27,432	29,572
固定負債		
長期借入金	7,500	6,900
繰延税金負債	522	405
退職給付に係る負債	901	924
資産除去債務	98	109
その他	2,524	2,259
固定負債合計	11,546	10,599
負債合計	38,978	40,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	400	400
資本剰余金	4,926	4,931
利益剰余金	5,800	6,543
自己株式	△1,279	△1,341
株主資本合計	9,847	10,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	140
繰延ヘッジ損益	△3	△5
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	62	134
非支配株主持分	1,063	1,036
純資産合計	10,973	11,704
負債純資産合計	49,951	51,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	24,091	26,861
売上原価	17,071	19,031
売上総利益	7,019	7,830
販売費及び一般管理費	6,347	6,603
営業利益	671	1,226
営業外収益		
受取利息	12	1
受取配当金	13	6
持分法による投資利益	28	143
その他	120	170
営業外収益合計	175	321
営業外費用		
支払利息	51	55
貸倒引当金繰入額	—	60
その他	30	40
営業外費用合計	81	155
経常利益	765	1,392
特別利益		
固定資産売却益	27	3
負ののれん発生益	271	—
その他	60	—
特別利益合計	358	3
特別損失		
固定資産売却損	0	14
固定資産除却損	5	6
減損損失	—	12
段階取得に係る差損	169	—
投資有価証券評価損	—	60
その他	—	0
特別損失合計	174	93
税金等調整前四半期純利益	949	1,302
法人税、住民税及び事業税	301	539
法人税等調整額	56	△114
法人税等合計	357	424
四半期純利益	591	877
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	52
親会社株主に帰属する四半期純利益	591	825

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	591	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	74
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整額	△23	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△39	72
四半期包括利益	552	950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551	897
非支配株主に係る四半期包括利益	0	53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社スマイルを連結子会社といたしました。

また、当第2四半期連結会計期間において、株式取得により株式会社アプライズの親会社である株式会社APホールディングスを持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。